



2023年4月11日(火) 15時00分～17時00分
経済産業省 スポーツ未来開拓会議
場所: 経済産業省本館17階会議室

新しい地域スポーツ環境に向けて

これからのスポーツ → SPORT FOR 1へ大改革のために
子どもも大人も楽しいNPO法人新町スポーツクラブの実践



高崎市の飛び地
山椒は小粒でも
ピリリと辛い

元日本体育協会 総合型地域スポーツクラブ育成 中央企画班班員
SC全国ネットワーク関東ブロック常任幹事・広報部会長・群馬県代表委員
群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会副会長
(一社) 群馬県障害者スポーツ協会理事
NPO法人新町スポーツクラブ(shinmachi-sc.org)理事長
新町SVCスポーツ少年団代表指導者

小 出 利 一

近未来の新町における 地域クラブ活動の仕組み ～ ～ 地域として目指すこと ～ ～



学校と地域の協働となる

コミュニティースクール化を視野に入れて

地域の青少年達のためにドイツで学んだことを基本にできることをやってみる

大変革⇒戦後 77年間 日本のスポーツを支えてきた学校部活動から脱却
変革すべきこと ⇒ ① 日本独特の各年代別で繰り返す引退
② ジュニア期にトーナメント制の全国大会が必要か
③ 学校単位のみとなっている中体連大会参加資格
④ スポーツを生徒指導及び受験の手段にしない

NPO法人新町スポーツクラブ

組織図(2022.4.10)

NPO法人 新町スポーツクラブ理事会

NPO法人新町スポーツクラブ育成協議会



+



◎2000年11月23日
群馬県初の総合型
地域スポーツクラブ
として設立
◎2010年12月24日
NPO法人格取得

クラブマネジメント部
(事務局)

新町地域スポーツ振興会・スポーツ推進委員

ユースボランティア部門

直 轄 運 営 教 室 部 門

既存団体部門

幼児・低学年向け外遊び教室

中高齢者向け健康麻雀

中高齢者向け貯筋体操教室

ベビードダンス教室

ヒップホップダンス教室

陸上教室

野球教室

バスケットボール教室

バレーボール教室

水泳教室

赤字の教室は学校部活動支援事業)

高崎新町エボリスタサッカークラブ

新町なぎなたクラブ

新町剣道クラブ

新町SVCスポーツ少年団

和太鼓会
しのぶ会

新町空手道クラブ

フェニックス(ミニバスチーム)

【支援事業】

- ・がんサロン運営支援
- ・子育て相談運営支援
- ・ボッチャ体験教室
- ・デフ陸上教室
- ・中学校ダンス授業
- ・中学校水泳授業
- ・中学校防災教育
- ・第一小水泳授業
- ・第一小特別支援学級
体育授業

クラブと連携している企業・組織

(株)NSP群馬、(株)群馬ヤクルト、NPO法人地域母親支援サージファーム、群馬県地域がんサロン
プログラミング学習支援団体RABOTEES、自遊空間 みちくさ(クラブハウス)

SVCスポーツ少年団は、クラブを組織
する際の核となり、陸上、スキー、野外
活動、ユースボランティア育成等、多様
な活動を行っている

2022年度 NPO法人新町スポーツクラブ収支予算書

収入予算				
項 目		収入金額	(内容)	備考
1 会費収入				
・ 正会員会費収入		420,000	60,000	5,000円×12人
・ 家族会員会費収入			120,000	3,000円×40人
・ 個人会員会費収入			240,000	2,000円×120人
2 事業収入				
種目別 団体別 会費収入	・ バレーボール	510,000	240,000	1,000円×20人×12か月
	・ バスケットボール		90,000	500円×15人×12か月
	・ ヒップホップダンス		60,000	1,000円×5人×12か月
イベント参加会費収入	・ 野球	4,545,000	120,000	1,000円×10人×12か月
	・ ドイツ国際交流派遣事業		3,000,000	
	・ 沖縄交流派遣事業		1,200,000	
	・ 親子ふれあいスポーツ教室		20,000	500円×40組
	・ 体力チャレンジ&クリスマス会		25,000	500円×50人
	・ スキー教室		250,000	
	・ その他		50,000	
3 助成金・協賛金・寄付金				
・ 新町スポーツ振興会		170,000	150,000	
・ 活動支援協賛金			10,000	
・ 寄附			10,000	
4 雑収入				
・ 視察資料代		10,010	10,000	
・ 利 息			10	
5 前年度繰越金		1,364,855	1,364,855	
収 入 計		7,019,865		
支出予算				
支出予算内訳		支出金額	(内容)	備 考
1 事業支出				
クラブ主催 事業 経費	・ スポーツ教室用品費	5,550,000	70,000	
	・ 施設利用料		60,000	
	・ 交通費		50,000	
	・ 保険料		60,000	
	・ 消耗品		50,000	
	・ 印刷費		20,000	
	・ キッズスポーツアカデミー事業		170,000	
	・ ACP指導者講習会事業		100,000	
	・ ドイツ国際交流派遣事業		3,150,000	
	・ 沖縄交流派遣事業		1,300,000	
	・ 親子ふれあいスポーツ教室		150,000	
	・ 体力テスト&クリスマス会		70,000	
・ スキー教室	300,000			
2 管理支出				
・ 事務員給与		860,000	360,000	
・ 旅費			30,000	
・ 借料経費			250,000	
・ 運営費			70,000	
・ 消耗品費			50,000	
・ 印刷製本費			50,000	
・ 雑費			50,000	
3 予備費(慶弔費含む)		619,865	619,865	
支 出 計		7,029,865		

NPO法人新町スポーツクラブ 予算概要

- ・ 収入の約93%が会費と参加費
- ・ 人件費は、事務局パートへ年間36万円のみ。各種目指導者は全て無償ボランティア
- ・ その理由は、会員がスタッフ
- ・ 金銭的補助ではなく、人材育成に係る研修会講師派遣、宿泊費減額等の支援を企業から受けている
- ・ 今後、地元企業の社員福利厚生に関することをお手伝いして支援をうけることも検討中

地元企業との連携事業の一例

新町地域の部活動地域移行→コミュニティスクール方式



4. NPO法人新町スポーツクラブ(ボランティア参加)

Yakult

NPO法人新町スポーツクラブ

水泳部顧問派遣

上原校長が指導者として参加

健康増進施設運営・管理
株式会社 NSP群馬
NIPPON SWIMMING PROMOTION GROUP

野球教室が始まります
2021年11月6日島川グラウンドからプレーボール
開催場所: 新町中学校校庭 島川グラウンド(11月6日は島川グラウンド)
対象者: 中学生～小学4年生まで
開催曜日・時間: 毎週土曜日 14時～17時 / 18時～20時

新町中学校 野球部員に対する指導
毎週土曜日 15:00～17:30 (秋冬 14:00～17:00)
場所 新町中学校 グラウンド 他
内容 新町スポーツクラブ野球教室へ指導者としてボランティア参加

資料提供: 群馬ヤクルト販売株式会社 未来価値創造部

地域スポーツとしての現状の課題

人

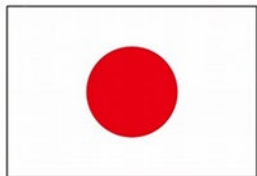
- ・ 地域スポーツを支える人の育成

場

- ・ 学校体育施設が頼り

金

- ・ 人を育成する、場所を借りる（作る）ための財源
- ・ 生活困窮家庭の支援の財源



基本的考え方



スポーツが複数形
Sportsで分断

学校体育

(地域)
社会体育

競技スポーツ

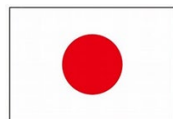
生涯スポーツ

競技スポーツも生涯スポーツも種目別文化

スポーツ文化
スポーツは
1つ
(Sport)

日本スポーツ少年団指導者と ドイツ スポーツユーгент指導者の違い

日本の現状



- ▶ 指導者のほぼ全員が無償
- ▶ 単位スポーツ少年団指導者の多くが登録団員の保護者（監督・コーチの場合と保護者役員の場合がある）
- ▶ 小学生で子どもが卒団すると指導者資格を有する者も卒団する傾向が強く継続性を保つことが難しい
- ▶ スポーツ少年団理念を本当に理解した指導者が不足するため暴言暴力指導者となるケースもある

ドイツの現状



- ▶ 指導者は、5€/1h 程度の謝金がある
保険もクラブが負担している
この財源は、Rotoの収益金
- ▶ 地域スポーツクラブのスポーツユーгент（6歳～27歳）の中から指導者になりたい人が自主的に資格取得へ進む
- ▶ 子どもの時から所属しているスポーツクラブだからクラブ理念を熟知している

ドイツ方式は、地域にとって必要な持続可能な人材育成ができる

指導者資格の統一化と有償指導者の増加

- ▶ 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者＝有償指導者として国民から認知されるように資格のステータスを向上させる
- ▶ 日本のスポーツ指導者資格は、スポーツ愛好者でも理解しづらい現状がある。ドイツの資格のように統一化する必要がある
- ▶ 現在のスポーツ指導者資格が職業へ直結できるように改革する必要がある。青少年が夢を持って働ける環境づくりが必要
- ▶ 非正規雇用では夢は持てない

例 将来 公認クラブマネジャー = 正規雇用で年収500万円

現状 公認クラブマネジャー 多くが非正規雇用もしくは無償

地域スポーツクラブ活動場所の課題

- ▶ **現状、日本スポーツ施設の65%が学校体育施設**
- ▶ **小中学校の施設は、地域開放事業で利用できる可能性がある。しかし、高校の施設は困難というイメージがある**
- ▶ **少子化によって生じている小中学校の空教室と授業がない時の体育館・校庭の有効活用が難しい**
- ▶ **運営方法は、コミュニティースクール化によって、地域と学校が協働して運営することで解決できるように感じる**
- ▶ **ハード面として、地域が管理しやすい体育館へ改修・建替えする必要がある**

日本のtotoとドイツのRotoの支援方法の違い

日 本



日本スポーツ振興センター

申請

承認・補助

地方自治体もしくは法人格を有する各団体

- ・ 日本は、個別に支援する方法
- ・ ドイツは、約9万スポーツクラブに対して会員の年間会費の一部と年間指導者謝金を支援

ドイツ



Rotoセンター

指導者
会員数
報告

指導者数と
会員数に応じ
た補助金交付

16州スポーツ連盟

指導者
会員数
報告

指導者数と
会員数に応じ
た補助金交付

市町村スポーツ連盟

指定管理制度の改革

- ▶ 多くの地方自治体は、指定管理制度＝人件費削減
- ▶ 低い予算が高い効果を望む傾向がある
- ▶ 本来、指定管理制度によって法人格を有する総合型地域スポーツクラブの運営を財政的に支援となる方法の1つだと考えられたが、現状は運営を苦しくしているケースも多々ある。
- ▶ 日本は、総合型地域スポーツクラブは自主自立だから設立した後は支援しなくても良いと理解している自治体もある。
総合型地域スポーツクラブは自主自律であって、財政的な自立は地方自治体が責任を持つべきと考える
- ▶ ドイツでは、地域スポーツクラブに対して財政支援等は手厚くある

スポーツ庁 提言と総合的ガイドラインに記されている重要事項

重要ポイントを実現するためには種目別年代別の受け皿探しでは困難

- ▶ 誰もが参加しやすいスポーツ、文化部活動
- ▶ 複数の活動を経験できる活動日数や時間
- ▶ 活動時間の適正化
- ▶ 学校と協働し、学校部活動の教育的意義を継承・発展、新しい価値の創出
- ▶ 指導体制の見直し
- ▶ 地域のスポーツ団体等との連携・協働



ドイツから学んだスポーツ環境をヒントに

新町スポーツクラブとして最も強い影響を受けてこと
青少年達の意見が反映される組織運営

子どもの身体活動に
「ダメ・禁止」は禁句
⇒リスク管理できる
人材を育成できない

スポーツを
手段にしない

全ての世代が様々なスポーツを楽しむ
ことで健康寿命を伸ばす

・ドイツにおける青少年国際交流活動の補助金 ⇒ ドイツスポーツユーゲント本部・州・市から補助金がある
しかし、試合形式だけの大会では補助しない
日本は、試合形式の大会だけ補助金がある（民間も含め） ⇒ 新町の国際交流には補助金がない
交流時間の内、定められた時間を文化交流、ディスカッション等がプログラムされて財政支援がある
その目的は、青少年国際交流で地域活性化のため

ドイツにおける地元企業スポンサー例



上段3枚 ニュルンベルク市
スポーツクラブのクラブハウス内と車



フライブルク市
スポーツクラブ



メルヘンフェー
ヴァルドルフ市 クラブ
6部サッカーリーグ戦会場



日本スポーツ界 大変革へ

新町スポーツクラブ として取組むこと

- ① 青少年は自主的に行動できる
人材として育む
- ② 青少年から高齢者まで一緒に
スポーツを楽しむ環境づくり
- ③ 全ての世代の健康寿命を伸ば
す活動

- ・【見守る姿勢】欧米のスポーツ指導にほぼ暴言暴力はない
ドイツは暴言暴力を働いた指導者に対して厳しい罰則がある
- ・ 欧米には、小中学生世代の全国大会はない
トーナメント方式の大会は基本ないリーグ戦が中心
青少年世代に勝利至上主義を持ち込ませないため

暴力暴言指導者の排除

種目文化から真のスポーツ文化へ

学校部活動の改革によって、地域
活性化への大チャンス



ご清聴ありがとうございました。

